

## 第6回 六角川学識者懇談会

(住民意見交換会及びアンケートによる意見聴取の主な意見について)

平成23年10月7日

武雄河川事務所

六角川水系河川整備計画(原案)は8月11日に公表し、住民の方々から以下の方法によりご意見をいただきました。

★住民意見交換会 (8月26日～9月7日) **意見総数88件**

- ・流域内の9会場で住民意見交換会を実施しました。
- ・参加呼びかけのため、区長会等での案内チラシの配布、新聞折込、ケーブルテレビ放映などを行い、約390名の方々にご参加いただきました。



★アンケートによる意見聴取 (8月11日～9月16日) **意見総数154件**

- ・ハガキ、ホームページ、意見箱(32箇所)、FAXにより回答を頂きました。



# 住民意見交換会（開催状況）

① 8月26日(金) 江北町 約30名



② 8月29日(月) 小城市 約30名



③ 8月30日(火) 白石町 約55名



⑦ 9月5日(月) 武雄市 約60名



⑧ 9月6日(火) 旧北方町 約65名



⑨ 9月7日(水) 大町町 約40名



④ 8月31日(水) 旧牛津町 約45名



⑤ 9月1日(木) 旧芦刈町 約35名



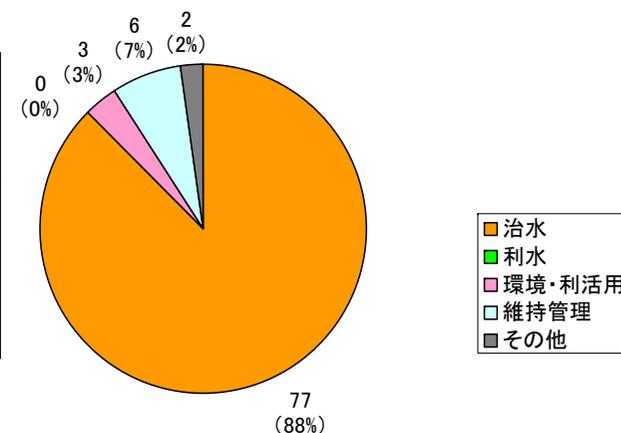
⑥ 9月2日(金) 多久市 約30名



住民意見交換会（意見のまとめ）

・住民意見交換会では、88件の意見が寄せられました。  
 ・意見の9割近くは、治水に関する内容でした。

項目	治水	利水	環境・利活用	維持管理	その他	合計
意見数	77	0	3	6	2	88



治水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水調節施設について（施設の必要性、施設規模、実現可能性等）</li> <li>・河道改修への要望（堤防嵩上げ、堤防の低い箇所を整備、河道内の土砂除去、蛇行部の是正、河道拡幅等）</li> <li>・内水排除対策への要望（ポンプの増設、運転調整の解消、ポンプ増による下流側の排水への影響）</li> <li>・有明海の特徴を踏まえた治水対策（ガタ土堆積の防止）</li> </ul>
環境・利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚が遡上できる魚道の整備。</li> <li>・六角川特有の河川環境に十分に配慮した整備が重要。</li> </ul>
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川内のゴミや流木への対処。</li> <li>・堤防の除草、河川内の樹木伐採等の河道の維持管理の推進。</li> </ul>

## 住民意見交換会（主な意見と回答①）

江北町：江北町公民館 3階大ホール（平成23年8月26日）

番号	分類	ご意見	武雄河川事務所の回答
1	治水	六角川調整池の凹地に水をためるのに異議があるわけではないが、泥が大量に入るのではないかと。牟田辺遊水地がどうであったかわからないが、六角川調整池の土砂堆積を心配している。	大量に土砂を揚げることは極力避けるべきで、具体の設計の際には土砂が入らないような配慮が必要だと思っています。平成21年7月の牟田辺遊水地の事例では、ごみは入りましたが大量の土砂は入っていません。
2	治水	六角川調整池を造ることにより、ポンプ運転調整が無くなるのか？	非常に大きな洪水がくれば、調整池を造ってもポンプ運転調整をすることとなります。但し、頻度は下がります。
3	治水	これで固めた整備計画は、簡単に変更できないのではないかと？	整備計画に記載することによって、事業化に向けた話し合いができるようになるかと考えています。計画に問題が多く、実現不可能といった場合は、別の案も考えて、整備計画を変更することも考えられます。
4	治水	六角川JR橋周辺の蛇行部を導水管で抜く案はないのか？	JR橋周辺での流下能力が不足しているわけではないので、現時点では考えていません。
5	治水	六角川の堤防はガタ土の上に造っているので沈下するのではないかと？	沈下に対しては施設に不具合がでたときは、所定の効果ができるように適切に維持管理します。

## 住民意見交換会（主な意見と回答②）

小城市：小城公民館 2階教養室（平成23年8月29日）

番号	分類	ご意見	武雄河川事務所の回答
1	治水	地域は牛津川遊水地の建設に反対と考えているが、国土交通省はどのような計画を考えているのか？	整備計画（原案）には牛津川遊水地を盛り込んでいますが、今後、実施の中で、市町や県を通じ流域住民の皆様と考えながら決定していきたいと考えています。
2	治水	牛津川遊水地を右原地区に決定した理由を教えてください。	河川改修と組み合わせた整備を進めるにあたっては、遊水地はなるべく上流側で洪水をカットした方が効率が良く、また確保できる容量も異なるため、これらを総合的に判断し、右原地区に決定しています。
3	治水	JRの工事を利用して、河川の拡幅等も考えてもらえたらよいのでは？	所定の安全度を確保するために、河川改修と遊水地などを組み合わせて整備を進めたいと考えています。これに比べ、JR橋や国道橋付近の拡幅は、膨大な費用と時間を要するため、現在のところ考えていません。
4	治水	大幅な河川改修（河道掘削、引堤等）ができない理由を教えてください。	費用、時間をかければできないことはありませんが、社会経済情勢や掘削後の再堆積を考えると難しいです。

## 住民意見交換会（主な意見と回答③）

白石町：白石町総合センター 集団指導室（平成23年8月30日）

番号	分類	ご意見	武雄河川事務所の回答
1	治水	高橋地区ポンプ増設の背景を教えてください。	国土交通省での事業実施にあたって採択基準があります。高橋地区は平成21年7月出水にて約40戸の床上浸水被害があり、流域全体でみた場合、最も被害が大きく、採択の可能性があるため、国土交通省にて事業を実施する予定としています。
2	治水	上流に排水ポンプを増設すると、現状よりも自然排水が困難となり、被害が大きくなるか。	改修にあたっては、水位低減対策を優先して実施することとしていることから、現状と比べれば自然排水が困難な状況にはならないと考えています。 また、外水位が高い場合は、強制排水は行わないよう、操作員にはお願いしています。
3	治水	この河川整備計画において、浸水被害が解消されていくのか。	まずは洪水調整池等の外水対策を実施し、外水位を下げることで内水被害の低減につながると考えています。排水ポンプだけでは限界があるため、クリークを有効活用する等の取り組みを、県・市町と協力しながら行っていきたいと考えています。
4	治水	堤防舗装を実施してもらいたい。また、堤脚水路がはまっていない箇所があるので、整備・管理して頂きたい。	現地の状況を精査し、必要に応じて検討します。 また、堤防点検において、舗装等の浸透対策や堤脚水路の整備等が必要となれば、実施します。
5	利活用	高齢者の河川利用も考えて、河川敷に、公園・散歩道・ベンチ・トイレ等の整備をして頂きたい。また、六角川の蛇行を利用して、観光のひとつにしていきたい。	現況の河川空間の利用については自由使用の範疇になりますが、新たに施設を整備する場合は、維持管理を含め市町等が占用のうえ利用していただくこととなります。

## 住民意見交換会（主な意見と回答④）

旧牛津町：牛津公民館 2階研修室（平成23年8月31日）

番号	分類	ご意見	武雄河川事務所の回答
1	治水	平成21年洪水では、牛津川の水位が上昇し、ポンプを停止しなければならなかったが、牟田辺遊水地の容量を半分程度しか使用できなかったと聞いている。管理上のミスがあったのではないか。	牟田辺遊水地は人為操作を行わないため、管理ミスではなかったことをご理解ください。整備計画で考えている改良では、ゲートを設けて遊水地に水を導く改良を行う予定なので、ポンプ停止の頻度は少なくなると考えています。
2	治水	牛津川遊水地をつくることでポンプを止めなくてすむのか。とにかくポンプはフル回転してほしい。	整備計画の整備水準としては、平成21年7月の洪水規模に対して、ポンプを停止しない計画としています。ただし、整備水準を上回る規模では、運転調整はありうることをご理解ください。
3	治水	JR橋付近が狭窄部となっているので改良してほしい。	所定の安全度を確保するために、河川改修と遊水地などを組み合わせて整備を進めたいと考えています。これに比べ、JR橋や国道橋付近の拡幅は、膨大な費用と時間を要するため、現在のところ考えていません。

住民意見交換会（主な意見と回答⑤）

旧芦刈町：小城市芦刈保健福祉センター「ひまわり」 集団指導室（平成23年9月1日）

番号	分類	ご意見	武雄河川事務所の回答
1	治水	H21出水時には、堤防高50cm近くまで、水位が上がっていた。2m程、堤防の高さを上げて頂きたい。	堤防を上げて洪水防止を図ることは、被害エネルギーを増大することになるため、治水の原則として、水位を下げる計画に努めていきたいと考えています。
2	治水	牛津川遊水地（山崎地区）は、今どのような計画になっているのか？	現時点では、計画の説明を行っていないため、事業実施前の段階で、説明にあがりたいと考えています。
3	維持	河口堰を活用してガタ土堆積の防止を考えてみては？	現実的ではないと考えています。

## 住民意見交換会（主な意見と回答⑥）

多久市：南多久公民館 大広間（平成23年9月2日）

番号	分類	ご意見	武雄河川事務所の回答
1	治水	河川内の堆積土砂、樹木の除去をお願いしたい。古賀橋周辺は樹木が多く繁茂し、景観的にも良くない。	必要に応じて樹木は除去していきます。また、順流区間は整備計画にて土砂の掘削を考えています。
2	治水	堤防の草刈は実施されているが、河川内の計画的な伐採は考えているのか。	堤防除草は年2回、樹木は計画的な伐採を考えています。また、樹木が繁茂し、流下阻害していることが確認できれば、樹木を伐採します。
3	環境	魚道が狭く魚が遡上しないので、ゲート開放を早くしてほしい。防災ばかりでなく、魚のことも考えてほしい。	（取水堰などの）ゲート操作は国の管理ではないので対応はできないが、魚道も含め、河川環境に配慮した川づくりを薦めていきたいと考えています。

## 住民意見交換会（主な意見と回答⑦）

武雄市：武雄市文化会館 大会議室A（平成23年9月5日）

番号	分類	ご意見	武雄河川事務所の回答
1	治水	改修メニューはどのような手順で進めていくのか。事務所の考え方を教えてほしい。	当面は平成21年7月洪水を対応する形で整備を進めている。個別に順位づけすることは困難ではありますが、治水の原則である河川水位を下げるための整備を優先的に実施することで考えています。
2	治水	何故、高橋地区だけポンプ増設なのか？	高橋地区については、JRや旧国道が冠水し、床上浸水も多いことから、事業採択の可能性があるため国土交通省にて事業を実施する予定としています。
3	治水	現在採石中である採石業者さんの考えも聞かずに、六角川洪水調整池を進めているのか。	整備計画に記載したから必ず造るということではなく、地権者の方、営業されている方、地域の方々に事業内容を説明し、理解が得られた段階で事業を進める予定です。

住民意見交換会（主な意見と回答⑧）

旧北方町：武雄市北方支所 2階会議室（平成23年9月6日）

番号	分類	ご意見	武雄河川事務所の回答
1	治水	もう少し、河道のガタ掘削やヨシ原の伐開を行い、河道の中での流下能力を上げてほしい。	ガタ土は掘削してもすぐにもとの状態に戻ってしまい、ヨシ原も含め維持管理が難しく、流下能力を増大させる対策としては困難です。
2	治水	極端にガタ土の堆積が見られる箇所がある、対策をして欲しい。	現在の状況より著しい堆積が見られる箇所、所定の機能が発揮できない場合は必要に応じ対策を行っていきます。
3	治水	蛇行部のショートカットを行えば効果が上がるのではないかな？	六角川のように勾配があまりない河川では、投資した事業費ほどの効果は得られないと考えています。
4	治水	調整地の効果よりも高橋ポンプ増設の影響が大きければ困る。	調整地の水位低減効果は大きく、高橋ポンプを増設しても水位が上がることはないことを確認しています。
5	治水	ポンプの運転調整は武雄河川事務所で一括管理できないのか。	他機関等で管理しているポンプもあり、合意形成がしっかりできていないと難しく、一括管理は出来ない状況です。

住民意見交換会（主な意見と回答⑨）

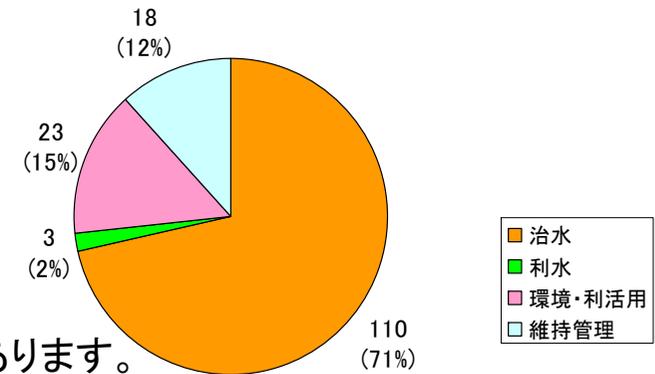
大町町：大町町公民館 2階小集会室（平成23年9月7日）

番号	分類	ご意見	武雄河川事務所の回答
1	治水	杵島炭坑の石炭運搬船が止まってから、ガタ土の堆積がどんどん増えてきている。	ガタの堆積についての調査研究を進めて行きたいと考えています。
2	治水	県河川の高良川の水が六角川で止まるので、高良川がスムーズに流れる対策をしてほしい。	田畑主体の浸水であれば、整備計画の中での新たなポンプは難しい。溜池やクリークの活用等とった工夫が必要と思っています。
3	治水	六角川調整池の国の政策補助（補償？）はどのようになるのか？	牟田辺遊水地は地役権補償で、造らせていただきました。ただし、六角川調整池は今後のご相談になります。

アンケートによる意見聴取（意見のまとめ）

・アンケートによる意見聴取では、154件の意見が寄せられました。  
 ・意見の7割近くは、治水に関する内容でした。

項目	治水	利水	環境・利活用	維持管理	合計
意見数	110	3	23	18	154



※出された意見について同じ主旨の意見が複数ある場合は割愛しているものもあります。

治水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心安全の川づくりを求める声が多く、河川水位の低減と内水排除対策への要望が多くあがっています。</li> <li>・河川水位低減対策としては、洪水調節施設の整備、堆積土砂の除去、樹木伐開等が求められています。</li> <li>・内水排除対策としては、排水ポンプの増設、堤脚水路の整備等が求められています。</li> <li>・また、防災情報の提供についても関心が高いです。</li> </ul>
利水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利水の有効活用の提案(小水力発電)など。</li> </ul>
環境・利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境面では、水質保全、河川環境の保全や美しい景観を求める声があがっています。</li> <li>・利活用面では、サイクリング、散歩ができ、子どもたちの遊び場としての整備が求められています。</li> </ul>
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川内のゴミ、雑木、土砂等の撤去や河川堤防等の道路補修、除草等が求められています。</li> </ul>

## アンケートによる意見聴取（主な意見と回答①）

番号	分類	ご意見	武雄河川事務所の回答
1	治水	毎年のように水害に見舞われている地域の安全・安心のため河川整備を進めていただきたい。	河川整備については、流域内の治水バランス等を考慮し、事業推進に努め、早期の効果発現が図れるように努力していきます。
2	治水	ガタ土の堆積を防止する対策を行ってほしい。	排水門等の機能低下を防ぐために必要に応じてガタ土の浚渫を行うこととしていますが、流下能力増大対策のための船舶の利用については、コストや継続性等の観点から実施は困難と考えています。 なお、ガタ土の堆積メカニズムの調査研究を進めることとしており、良好な結果が得られれば必要に応じ河川改修に活かしていきたいと考えています。
3	治水	内水対策を早期に行ってほしい。	河川整備については、流域内の治水バランス等を考慮し、事業推進に努め、早期の効果発現が図れるように努力していきます。 内水対策については、 ①外水対策により河川水位を下げ内水にも効果を発現させる ②ため池やクリークの有効活用による流出抑制や宅地や道路の嵩上げ、土地利用の工夫などを行う ③いずれの案も適用できず床上浸水が多く発生し、また頻発する地区のみポンプ増設を検討することとしています。 なお、内水対策については河川管理者のみで対応できないものもありますので関係機関や地域の皆様と協働で進めていきたいと考えています。 また、地域ぐるみの防災教育の推進等を支援し、災害時のみならず平常時からの防災意識の向上を図り、自助・共助・公助のバランスのとれた地域防災力の構築の支援に努めることとしています。
4	治水	六角川は、六角橋上流より北側に大きく蛇行しているが、これを直線に修正すれば、流速が早まり大雨時の被害を回避できると思います。	ご提案の内容については、効果の程度、コスト等を踏まえると現実的ではないと考えます。

## アンケートによる意見聴取（主な意見と回答②）

番号	分類	ご意見	武雄河川事務所の回答
5	治水	牟田辺遊水地活用の効率的な運用を。	整備計画原案に記載したとおり越流堤の改良を行い、効率的な運用を図ることとしています。
6	治水	堤脚水路の整備、堤防天端の舗装等を行ってほしい。	現地の状況を精査し、必要に応じて検討します。
7	利水	水を資源として考えて見たらどうでしょうか。（小水力で発電）	ダムでは小水力発電でダムを管理する時に使用する分の発電を行っているところもありますが、六角川水系の国管理区間での実施は現実的ではないと考えます。一方、水面などの利活用等については、国土交通省としても支援させていただきます。
8	環境	河川環境や景観にも配慮した河川整備を進めて欲しい。	六角川は有明海固有の生物も生息していることから、整備にあたっては水環境や生物に与える影響などの自然環境や景観に配慮し進めることとしています。
9	利活用	桜の木等を植えたり堤防や河川公園を整備し、多目的に利用できる場を作ってほしい。	現状の堤防などを毎日の散歩やジョギングなどに利用することについては、自由使用の範疇になりますが、新たに桜の木等を植えたり公園などを整備することについては、市町等が占用申請を行い整備と後の維持管理を市町等または地域住民の皆様により行うこととなります。なお、頂いたご意見は関係する市町へも伝えることとします。

## アンケートによる意見聴取（主な意見と回答③）

番号	分類	ご意見	武雄河川事務所の回答
10	維持	河川内のゴミ、樹木、土砂等の撤去や河川堤防除草を頻繁に行ってほしい。	<p>ゴミ問題については整備計画原案にも記載していますが、地域の美化活動のほか関係機関が連携し適切に対処する必要があると考えています。</p> <p>堤防除草については堤防の変状等の把握のため、梅雨期前と台風期前の年2回実施することとしています。ご理解願います。</p> <p>河道内の樹木については、河道断面の維持及び、良好な河川環境・景観の維持の観点から定期的な調査を行います。さらに、河道断面の阻害が発生した場合に備え樹木伐開方法や時期について検討を行い、必要に応じて伐開を行います。</p> <p>堆積土砂については、河道の著しい堆積が無いような維持に努めます。</p> <p>河道内に堆積するガタ土・ヨシについては流下能力を増大させるための掘削は予定していません。</p> <p>一方、今後ガタ土やヨシの堆積が著しく進行し、河川管理施設の機能低下が生じるような場合には必要に応じ掘削等を行うこととしています。なお、ガタ土の堆積メカニズム及びヨシ原の伐開に係る調査研究を進めることとしており、良好な結果が得られれば必要に応じ河川改修に活かしていきたいと考えています。</p>